



学校だより

佐渡市立両津吉井小学校

令和5年5月2日

<5月号>



ホームページ
QRコード

5月1日は両津吉井小学校の創立記念日

校長 後藤 修治

風薫る五月。若葉が出始め、吹く風にも若芽のかおりがするさわやかな時季となりました。明日からゴールデンウィークとなります。ご家族で過ごす時間も多くなります。楽しく、安全で、充実した連休になることを祈っております。

さて、2年生教室の前に植えてあるハナミズキが今、花をきれいに咲かせています。このハナミズキの木は、平成15年（今から20年前）に両津吉井小学校同窓会が設立した記念に植えられた記念樹です。このハナミズキの木は、一本の木から赤（ピンク）と白の二色の花を咲かせるととてもめずらしく、縁起のいい木です。よく見ると、根元から二つの枝に分かれて白と赤の花を咲かせています。ご来校の際は、ぜひご覧いただければと思います。



【縁起のいいハナミズキの木】

昨日5月1日は、両津吉井小学校の62回目の創立記念日でした。昨日の全校朝会では、両津吉井小学校第3回卒業生で、学校運営協議会会長の矢田親成さんをお招きし、学校の歴史に関するお話をしていただきました。3年生までは、今の自動車学校の所にあった吉井小学校に通っていたこと、4年生から現在の場所の吉井小学校（旧校舎）に通ったこと、現在の校舎は平成12年（今から23年前）に建てられたことなどをお話いただきました。また、「伸びゆく子ら」の像は、矢田さんの学年の卒業記念と、その年に入学した1年生の入学記念として寄付されたものであることも教えていただきました。

子どもたちにとって、両津吉井小学校の歴史を知り、卒業生である地域の方の思いを感じる貴重な時間となりました。

この「伸びゆく子ら」の像は、現在の校舎建築の際に今の場所に移動したと聞いています。ところで、「伸びゆく子ら」の像は、どの方角を向いているかご存じでしょうか？ 答えは、南南東です。では、なぜ南南東を向いているのでしょうか？

この方角には、手前はグラウンド、向こうには加茂湖があります。「グラウンドで遊んだり活動したりする子どもたちを見守ってくれているんだらうな。」また、「校歌の1番

『あけゆく加茂湖さわやかに 希望燃え立つ朝の陽の 強く正しくほがらかに 伸びていけよと呼んでいる』にある加茂湖の方を向いているんだらうな。」などと私なりに考えてみました。あくまでも私の勝手な推測です。もし、真意が分かる方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えていただければありがたいです。

